

令和5年度総合教育会議

伊勢市の不登校の現状・課題・支援について

- ◇教育委員会事務局 学校教育課
- ◇伊勢市教育研究所

1 伊勢市の不登校の現状について

伊勢市不登校児童生徒数推移

	小学校	1000人あたり	中学校	1000人あたり	合計	1000人あたり
H30	33	5.1	107	33.2	140	14.5
R元	25	3.9	105	33.6	130	13.9
R2	36	5.9	85	26.8	121	13.2
R3	39	6.4	112	36	151	16.6
R4	63	10.7	128	41.9	191	21.4
R4.9月末	37		81		118	13.5
R5.9月末	48		94		142	16.4

←過去最多

2 伊勢市の不登校の課題について

◆不登校児童生徒の増加（1,000人当たり）

R2 13.2人 ⇒ R3 16.6人 ⇒ R4 21.4人

◆多岐にわたる不登校の要因

- ・ 主な要因…無気力・不安、友人関係をめぐる問題
- ・ 複雑な要因の重なり

3 学校現場の取組について

❖ 魅力ある学校づくり

- ・居場所づくり、絆づくり
- ・いじめや暴力行為を許さない学校づくり
- ・小中連携の推進による中1ギャップの解消

❖ わかる授業づくり

- ・児童生徒の学習状況等に応じた指導・配慮の実施
- ・教職員の資質向上

❖ 早期把握・早期対応

- ・定期的な調査と分析
- ・NEST、スマイルとの連携
- ・組織的な指導体制の充実

❖ 保護者・地域・関係機関との連携・協力

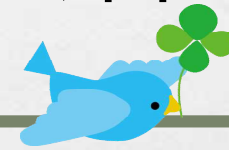
- ・保護者地域住民などとの連携・協働体制の構築
- ・相談体制の充実
- ・生活習慣の確立

4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【運営方針】

- ・子どもたちの自主的な活動を大切に、自立の力を養う。
- ・個に応じて、社会的自立に向けた支援をする。
- ・保護者や学校と相談し、子どもたちのエネルギーがたまるように支援する。



NESTとは、「鳥の巣」という意味で、「鳥たちの巣のように、安心して落ち着くことができる温かい場所から、やがて巣立っていくことができるように」という願いを込めてつけられています。

4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【通級状況】

令和5年度(9月末)	小学生5人	・中学生14人	計19人
令和4年度	小学生11人	・中学生26人	計37人(過去最多)
令和3年度	小学生14人	・中学生16人	計30人
令和2年度	小学生7人	・中学生12人	計19人
令和元年度	小学生10人	・中学生21人	計31人



4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【スタッフ】

指導員 2名(教諭)

研修員 1名(教諭)

児童生徒自立支援員 3名(市会計年度任用職員)

通級バス運転手 1名(市会計年度任用職員)

学生ボランティア(メンタルフレンド) 若干名



4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【日常活動】

午 前		午 後	
9:00~10:30	ふれあいタイム	12:00~12:20	昼食・休憩
10:30~11:30	学習タイム	12:25~12:55	読書タイム
11:30~12:00	ふれあいタイム	12:55~13:35	ふれあいタイム
		13:35~14:00	清掃・連絡

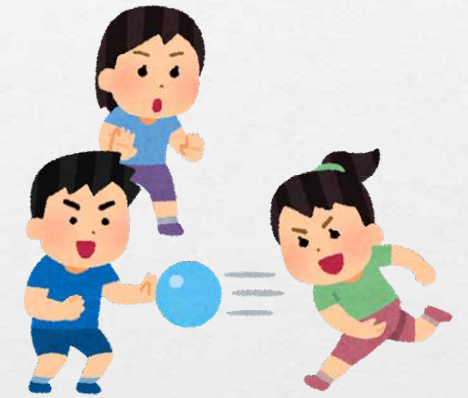
- ・ふれあいタイム 子どもの興味・関心に応じた活動。
軽スポーツ、読書、工作、手芸、ゲームなど
- ・学習タイム 自主学習(1日1時間) ※学習教材は各自で準備 7

4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【ふれあい広場〔スポーツ体験〕での活動】

市立体育館で、ドッジボールなどスポーツやレクリエーションをする（週1回程度）



【図書館での活動】

市立図書館で、好きな本を借りたり読書をしたたりする（月2回程度）



4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【体験的学習】

絵手紙教室・陶芸教室・カヌー体験・みかん狩りなど



絵手紙教室



カヌー体験



みかん狩り

4 教育研究所の取組について

(1) 教育支援センターNEST

【通級生への支援】

- ・カウンセリング等の実施

【保護者への支援】

- ・保護者面談(月1回程度) ・電話相談(随時)

【学校との連携】

- ・学校訪問(随時・計画訪問年2回)
- ・毎月の通級状況の報告

4 教育研究所の取組について

(2) 保護者への支援

- ・電話相談、カウンセリング(スマイルいせ)
- ・不登校・登校しぶりをともに語り考える保護者の会「ホッとLine NEST」(年2回)の開催
- ・不登校の理解と対応のための保護者向け資料「ハーモニーハート」の作成、配布
- ・講演会の開催(子ども理解)



4 教育研究所の取組について

(3) 学校への支援

- ・不登校担当の教育コンサルタント(元校長2名)による、相談、訪問等の支援(訪問型支援「Reseed」)

学校にも、
教育支援センターNESTにも
来ていない児童生徒への
相談等支援を充実

5 ICTを活用した学習支援について

令和4年度 不登校児童生徒ICT活用状況アンケート結果
(1度でもICT機器等を活用した児童生徒の割合)

不登校児童生徒	70.6%
別室等で過ごしている 児童生徒	95.8%

(参考) NEST通級生 99%

5 ICTを活用した学習支援について

令和4年度 不登校児童生徒ICT活用状況アンケート結果
(どのような場面で、ICT機器の活用を行ったか)(複数選択可)

場面	割合
本人または家族との連絡等	95.7%
朝の会や帰りの会に参加	56.5%
学活など学級での取り決め	47.8%
教育相談	0%
オンラインで授業への参加	73.9%
アプリ等を活用した自宅学習	43.5%
テスト等を受けるため	4.3%
その他(板書の写真のやりとり等)	4.3%